

ベルギーの花見どころ

暖くなったら、時間を惜しまず出かけて、春の花を楽しみましょう。
ベルギーでも、たくさんの花が我々を待っていますよ！



Groot-Bijgaarden城
www.floralia-brussels.be/en

Kasteel van Groot-Bijgaarden
Isidoor Van Beverenstraat 5
1702 Groot-Bijgaarden

4月7日(金)~5月7日(日) 10h~18h
入場料: 大人€12
65歳以上・学生・身障者€10
6~14歳€5、6歳未満無料
期間中通し券€18
園内にカフェテリアあり(軽食可)

Floralia Brussels

14haの城の庭園をこの時期のみ一般公開します。球根花の専門家の指導のもと、城の職員により春に咲くほとんどの球根花が、合計100万個あまりも植えられ、園内に色の祭典を繰り広げます。

400種類にのぼるチューリップの開花時期は、早い・通常・遅いと分けられており、公開期間中いずれの時期に出かけても素晴らしい花を鑑賞できるため、オランダ・キューケンホフまで出かけなくても、チューリップの絨毯を見ることができます。

温室内では、毎週金曜日に1万本の花が様々なテーマで生けられて、温室を華やかに飾ります。金曜日には、その作業を見学できます。また、彩を添えるバラ、アジサイ、ユリのブーケや、チューリップの花で作られた迷路もあり、出口では、チューリップや蘭などの球根が販売されています。

園内では、ヴェニスのカニバル衣装のパレードがあります。

日時: 4月16日14h~17h
17日10h~17h



©WBT-J.P.Remy

ラーケン王宮内温室
www.monarchie.be/fr/patrimoine/les-serres-royales-de-laeken/ouverture-au-public

Château de Laeken
Kasteel van Laeken
Avenue du Parc Royal, 1020 Laeken

4月14日(金)~5月5日(金)
入場料: 大人€2.50、18歳未満無料
駐車場: Avenue de la Dynastie

毎年この時期に一般公開され、王家が居住する王宮の一角に足を踏み入れることができます。レオポルド2世時代に植えられた植物が現在も生育しており、珍しい品種の植物も多岐にわたり栽培されています。中でもカメラアコレクションは、見事で一見の価値ありです。開園時間は、曜日により異なり、夜に見学できる日程もあります。公開による収益は、全て王宮内の美術品修復、購入に充てられます。

そもそもこれは、1873年、レオポルド2世がアールヌーボーの巨匠ヴィクトール・オルタの師であるアルフォン

ス・バラに依頼し、20年の歳月をかけて王宮庭園に建設した、ガラスと鉄骨で造られた温室です。この広い温室内で、貴重な品種の植物やエキゾチックな植物を鑑賞してください。

入場可能時間は、左記ウェブサイトを確認してからお出かけください。

なお、セキュリティ強化のため、入り口でカバンのチェックがあります。あまり大きなリュックサックやカバンを持たないで行きましょう。

4月25日(火)は、障がい者用の見学日となります。



ハルの森

行き方は、下記プチポワウェブサイトをご覧ください。
www.petits-pois.be/archive3/articles/2011/04/3.html

ブリュッセルの南約20kmのところにあるハル(Hal/Halle)の森は、大部分がブラバン・フランダース州にあり、一部がブラバン・ワロン州に位置します。この森に咲くブルーベル(野生のヒヤシンス)が、紫色の絨毯を敷き詰めたように森を覆います。

毎年4月から5月にかけて、ベルギーをはじめ、近隣諸国からも花を見に来る人が訪れます。開花は自然現象により毎年変化しますので、ニュースやブログなどで開花時期を確認しましょう。

森の入り口は数カ所にあり、どこから入っても趣きのある花たちが、森を一段

と幻想的な紫に染め上げる光景が見られます。夕暮れや雨上がりの霧のかかった森は、我々をさらに魅了します。

一度は訪れてみたいハルの森。ブルーベルの後は、スズランの花が満開になり、森は真っ白な絨毯となって、違った雰囲気を出してくれます。森内は、散歩道が整っており、家族でのウォーキングスポットとしてもお勧めです。乗馬専用道もあり、週末には、乗馬を楽しむ人も見かけます。

森入り口の道は細く、民家もありますので、住民の迷惑にならないよう、気をつけて訪れてみましょう。